

2025(令和7)年度 事業報告書の概要

2026年 5月8日
(一社) 日本民営鉄道協会



民鉄協公式キャラクター
「ミーカちゃん(左)」
「ぴびまる(右)」

<目次>

I 民鉄のさらなる発展につながる、協会の運営の活性化、会員各社の事業面での取組強化を目指して

1. 協会の運営の見直し
2. 民鉄の利用促進に向けた取組の強化 ～観光需要の取り込みや環境優位性の活用～
3. まちづくりに係る取組の積極化
4. 将来にわたっての民鉄業界の人材確保に向けた取組の強化
5. 協会の発信力の強化・存在感の発揮

II 安全・安心で、利用しやすい民鉄の推進と持続性の確保を目指して

1. 安全・安心対策の徹底
2. 鉄道サービスのさらなる向上
3. 従業員が安心して働ける環境の確保に向けた取組の強化
4. 地方公共交通の再構築に向けた国・自治体の取組に連動した地方民鉄の再生・活性化の取組の強化

III 民鉄業界の基盤強化、環境整備等を目指して

1. 民鉄関係予算、税制、財投制度の拡充・改善等
2. 広報活動の積極的展開
3. 社会貢献活動や関係者との連携協力その他、民鉄業界の社会的価値の向上に資する取組

I 民鉄のさらなる発展につながる、協会の運営の活性化、会員各社の事業面での取組強化を目指して

1. 協会の運営の見直し

- 「協会運営の見直し方策」の取組
 - ・企画・戦略委員会を立ち上げ、まちづくり、環境等をテーマに情報共有・意見交換
 - ・「労務委員会」を「労務・人材委員会」に改称し、人材確保・育成に関する事項を付加
 - ・各委員会と協会事務局(各部)の整合を図るなど事務局体制を見直し
- 協会の発信力強化・存在感の発揮
 - ・総務委員会に「発信力強化等プレゼンス向上部会」を設け、ミッション・ビジョン・バリュー及びロゴマーク、協会発足60周年記念事業を検討
 - ・啓発動画の積極展開等、広報活動を強化
- 協会改革をさらに次のステージへ進めることとし、業界ニーズを的確に汲み取り、政策提言や要望としてまとめ、効果的にアピールし実現に繋げていく観点から、会員各社幹部や関係委員会メンバー等から対象となり得る事項の洗い出しなどを行い、関係委員会へ問題提起を行うとともにこれからの進め方の議論を促した。

2. 民鉄の利用促進に向けた取組の強化 ～観光需要の取り込みや環境優位性の活用～

(1)インバウンド（訪日外国人）回復を踏まえた鉄道需要への取り込み等の強化

- ・交通政策審議会の次期観光立国推進基本計画（2026(令和8)年3月閣議決定）審議への参画
- ・鉄道利用マナーの啓発（国内最大級の英語圏向け訪日メディアサイト「japan-guide.com」及び韓国語圏向けYouTube・ブログで発信、航空機内・空港ターミナルへの動画展開）
- ・地方民鉄等の利用促進（協会HP英語版サイト充実、地方民鉄等の旅の体験発信）

(2)環境にやさしい鉄道への理解を深め、利用促進を図る啓発活動等の実施

- ①カーボンニュートラル、グリーン・トランスフォーメーションへの対応
大手16社環境担当者情報交換会の開催、関連会議体への参画
- ②鉄道GX官民研究会への対応
「鉄道分野のGXに関する基本的考え方」策定(2025年9月) 時の情報共有、意見・要望反映
- ③効果的なPRの取組
「大手事業者全体の運転用電力に係るCO2排出量」の2030年度目標の前倒し達成の公表、「Switch! SUSTAINABLE TRAIN」啓発ポスターの大幅増刷掲出

3. まちづくりに係る取組の積極化

会員各社がこれまで以上に「まちづくり」への関わりを強めている中、新たに設置した「企画・戦略委員会」のテーマの一つとして取り上げた。

- ・第1回委員会（2025(令和7)年8月）

「まちづくり、沿線地域との共生等に関する取組」について今後の方針や当面の進め方について議論

- ・第2回委員会（2026(令和8)年3月）

沿線まちづくりに関する取組事例の共有

（公社）日本交通計画協会主宰の沿線まちづくり研究会の取組（国土交通省と都市局長への提言、シンポジウム等）の共有

今後、実務クラスの研究会を設置するなど、効果的な検討の体制等を整備し、まちづくりに係る取組を積極的に行っていくこととした。

4. 将来にわたっての民鉄業界の人材確保に向けた取組の強化

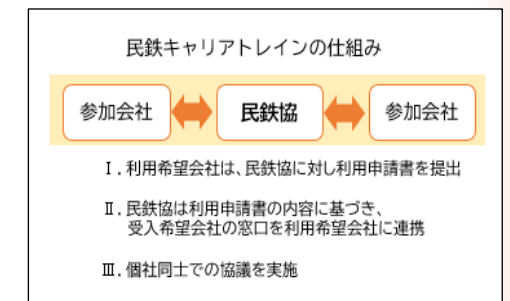
(1)委員会活動の充実・強化など

- ①人材確保・育成・定着を含む幅広い課題への対応に向け「労務委員会」を「労務・人材委員会」へ改称
- ②カスタマーハラスメント抑止を目的とした啓発ポスターの掲出
- ③「民鉄キャリアトレイン」を85社に拡大、「鉄事業業者等及び自衛隊における人材確保の取組に係る申合せ」に基づき、退職予定自衛官向け業種説明会に参加



(2)外国人労働力の確保への対応

- ・特定技能制度・育成就労制度に鉄道分野の6業務区分設置の要望書を提出
- ・国土交通省・関係団体等の協力のもと、「外国人材セミナー」を3回開催し、会員各社の海外人材活用を支援



5. 協会の発信力の強化・存在感の発揮

- ・協会基礎理念の浸透に向け「ミッション」(Mission)・「ビジョン」(Vision)・「バリュー」(Value)を策定するとともに、これらを反映するロゴマークを制作
- ・協会発足60周年記念事業の企画検討に着手し、基本方針及び具体的施策(概要)をとりまとめ
- ・インバウンド受入強化の観点から鉄道利用マナーの啓発について、英語圏向け動画を発信するとともに、航空機内・空港等に展開、さらに韓国語圏向けYouTube・ブログで発信
- ・鉄道部門の人材難に対し、鉄道業界の仕事への理解を促進する動画広告等を制作・発信
- ・人材育成、若手やシニアの働き甲斐形成等に資する「Webセミナー」を3度にわたり開催し、各社単独では情報を入手しにくいもの、外部講師を単独で招く機会を作りにくいものについて、協会が代行



Ⅱ 安全・安心で、利用しやすい民鉄の推進と持続性の確保を目指して

1. 安全・安心対策の徹底

- (1) 運輸安全マネジメント内部監査員研修の実施、安全啓発ポスター・グッズの掲出・配布、各種検討会や技術基準見直し、交通バリアフリー基準改正等への対応
- (2) 南海トラフ巨大地震・首都直下地震、首都圏における広域降灰等、防災・減災対策への対応
- (3) 危険品車内持ち込みルール見直しへの対応、サイバーセキュリティ対策への支援
- (4) こども110番の駅の推進、自殺対策への対応
- (5) 老朽化対策への対応
- (6) 鉄道責任賠償保険等への対応



2. 鉄道サービスのさらなる向上

- ・「歩きスマホ」「エスカレーター」等社会環境の変化を踏まえた鉄道の安全
安心な環境整備
- ・「鉄道運賃制度等のあり方に関する勉強会」を会員各社・JR・学識経験
者等と連携して開催し、検討結果を取りまとめて国交省鉄道局へ提言
- ・HPやスマートフォンアプリを通じた混雑状況提供、改札システムのクレジット
カード・QRコード対応の検討
- ・女性用トイレにおける行列問題の改善に向けたガイドラインの作成への参
画
- ・社会福祉法人日本介助犬協会を招いての講演とデモンストレー ション
(10月総会時) により、補助犬を使う利用者対応の必要性について意
識を浸透。



3. 従業員が安心して働ける環境の確保に向けた取組の強化

- (1) 労使協議会・産業労使懇談会の開催、産業別最低賃金協定に関する私鉄総連との交渉・合意書の締結
- (2) 労働安全衛生部会全国総会の開催、安全衛生フォトコンテスト2025の実施、第三者暴力行為災害防止ポスターの作成、ニュースリリース発行
- (3) 労働関係法令改正等に関する通知等について会員各社への周知
- (4) 人材確保に向けた取組の強化



4. 地域公共交通の再構築に向けた国・自治体の取組に連動した地方民鉄の再生・活性化の取組の強化

- ・地方交通委員会「持続可能な地方鉄道のあり方に関する専門部会」の開催
委員会メンバー49社が参加し、各社の課題、困り事等について解決策の共有や意見交換を実施
- ・地方交通委員会現地視察会の開催（広島）
広島電鉄の広島駅乗り入れや車庫・指令所の見学
三菱重工三原製作所の車両工場、空制工場の視察
- ・「地方民鉄 旅ガイド」の発行、デジタルブック版による9ヶ国語への対応
- ・「地方民鉄フォトコンテスト」を台湾の鉄道も対象に含めて実施
- ・地方鉄道関係シンポジウム（「地域鉄道を活かした地域活性化の課題と方法について」（青森））への支援・参加
- ・ラジオ大阪での地方民鉄紹介
「上山康博の百戦錬磨」：沿線観光地・イベント等のPR
「まちと移動のミライコラボ」：経営目標、目指す姿等についての対談



Ⅲ 民鉄業界の基盤強化、環境整備等を目指して

1. 民鉄関係予算、税制、財投制度の拡充・改善等

- ・鉄道税制特例措置の延長や民鉄関係の予算確保、政投銀からの投融資確保等の実現
- ・国際会計基準についての情報共有

2. 広報活動の積極的展開

- ・WEB媒体（HP、X、Instagram）の運営
- ・広報誌「みんてつ」・データブック「大手民鉄の素顔」の発行
- ・マナーアンケート、マナー啓発の実施
- ・小学生新聞コンクールの実施
- ・「鉄道の日」鉄道フェスティバルへの出展
- ・WEB版「民鉄会報」（機関媒体）の充実強化



3. 社会貢献活動や関係者との連携協力その他、民鉄業界の社会的価値の向上に資する取組

- 公益活動に対する寄附、支援等の社会貢献活動
 - ・「2025年日本国際博覧会協会」（大阪・関西万博）
 - ・「2027国際園芸博覧会協会」（GREEN×EXPO 2027）
- 「国土交通省鉄道局との勉強会」を開催し、運休発生時等における利用者への対応等を議論
- 協会公式キャラクター「ミーカちゃん」「ぴぴまる」のノベルティグッズ作成・配布による協会の認知度向上、関心を高める取組の実施
- 台湾鉄道観光協会との連携
 - ・2025(令和7)年7月に台湾において開催された「日本台湾鉄道観光フォーラム」に会長・前副会長・理事長が参画
 - ・台湾観光庁が台湾観光に貢献した企業に対して贈る「2026台湾観光貢献賞」を民鉄協が受賞（2026(令和8)年3月）
 - ・鉄道フェスティバル（2025(令和7)年10月）での台湾観光協会展示ブースの出展協力、公式キャラクター「ミーカちゃん」・「ぴぴまる」と「オーベア」とのコラボグッズを作成・配布

